予算特別委員会

老春手帳優遇措置事業について

（質問）金野秀一委員

問 制度検討委員会で、制度の姿を求めてきたが、委員の質問に市は明確な答えを示されていない。また議論が尽くされてない箇所もある。そして、我が党の現制度への問題提起や提案にも回答がない。そこで、10月の実施を凍結し特別委員会を設置し新たな制度として見直すべきです。また、映画は現制度を継続し、必要な予算については補正予算で取り組まれるお考えはないか。

答 藤原市長　具体的なご提言を頂き、市民の皆様により納得して頂く制度とする為に、議会での審議をさらに継続して進めて頂くことが必要と思います。10月実施を目途とする中で、その検討結果が出るまでは現行制度を継続する事とし、映画館無料入場券も現行のまま継続する。そして必要となる経費は補正予算等の対応を図って参りたい。

「選択と集中」について

（質問）高橋克己委員

問 市長の政策判断基準は「選択と集中」ですが、これは主観的な判断基準であり、市民にもわかりやすい客観的な判断基準を明確にすることが必要ではないか。施策の実施は、この客観的な判断基準を用いて事前評価を行うことが大切です。事前評価制度の導入についての考えは。

答 藤原市長　「選択と集中」は、確かに客観的基準というには難しい。現実に、解りにくい所があることも事実です。そこで市民の満足度調査というアンケートなどが大きな判断基準の一つになると思うので、ひとつの判断基準として、より有効で効果的な調査を実施して施策に結びつけていきたい。

問 「福祉なんでも相談窓口」が新設されるが、窓口体制と設置場所は。

答 市民サービス窓口の統合化を視野に入れた中で、今回福祉部門の相談窓口から実施し、「タライまわし」にならない対応をしてまいりたい。開設場所は、中央棟玄関ロビーの東側一角を予定している

AED 自動対外式除細動器について

問 平成20年度は、86施設に設置されるが今度の年次計画は。又小児用の機器について。

答 平成20年度には、小学校47校・中学校22校、スポーツ関連施設13施設、高齢者施設4施設を予定。平成21年度には、幼稚園、保育園、スポーツ関連施設、文化・観光施設を予定。又21年度に配置予定の幼稚園、保育園については、大人用、小児用の除細動パッドを整備する方向で検討していく。

市立奈良病院についてセカンドオピニオン外来を4月から設置

問 建替え計画のスケジュールについて。

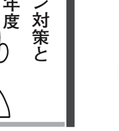
答 平成22年度から本格的な建設に入り、24年度前半に新病院を完成させ、後半には現在の病棟及び外来診療棟の解体撤去を考えている。

（質問）高杉美根子委員

問 「認定こども園」計画は。

答 子育て支援の拠点として導入し、未就園児保育を充実させ、子育て不安に対する相談活動を実施したい。長時間保育や夏休み、冬休み等の長期休業中の保育も行う計画。平成20年度予算に保育室の改修、空調設備の設置、子育て支援充実の職員配置の経費を計上。保護者・住民代表や幼稚園関係者で、学校規模適正化推進協議会を設置して、十分協議し進めたい。

ガン対策と新年度の取組みは。



問 ガン対策と新年度の取組みは。

答 「地域ガン診療連携拠点病院」の指定を目指すと共に、仮称「消化器・肝臓病センター」を設置する予定。更に、専門外来の設置については、市立奈良病院以外の主治医にかかりつけの患者を対象に、完全予約制の「セカンドオピニオン外来」を4月から設置します。

問 対する、特定健康診査、特定保健指導の実施計画は。

答 内臓脂肪症候群の有病者や予備軍を早期発見し、保健指導を行うことを目的に特定健康診査を実施。6月に国保対象者へ受診券・質問票を送付し、国保健康保険証とを持って医療機関で受診できる。更に、受診結果により、生活習慣改善の必要な人は、面接等による特定保健指導を行う。

問 「頭部MRI検査」については。

答 人間ドッグがなくなる為、奈良市国保で助成等対応する。

問 がん検診の実施方法と取り組みは。

答 市町村事業となり、胃がん、肺がん検診は、集団検診。大腸がん、子宮がん、乳がん検診は個別検診。国の指針で実施。個別検診の対象者には個別に通知し、すべてのがん検診の受診率向上の為、市民だよりやチラシの配布で広報、情報提供する。

実現しました！

妊婦健診の公費負担が5回に拡充実現！

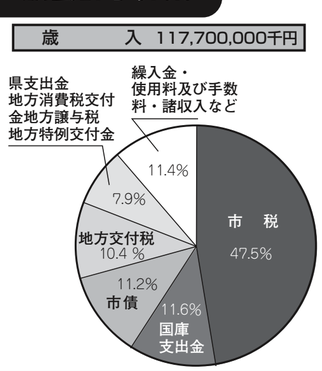
平成20年度奈良市一般会計予算案

平成20年度予算は、歳入の根幹をなす市税収入状況が、人口減少や少子高齢化の進行で個人所得の伸び悩みなどの影響により、前年度比0.3%の減。

その他の歳入についても増額に期待が出来ない。一方で、市民ニーズは多岐多様にわたり、これに伴う財政需要も高まり、市の財政は大変厳しい状況にある。

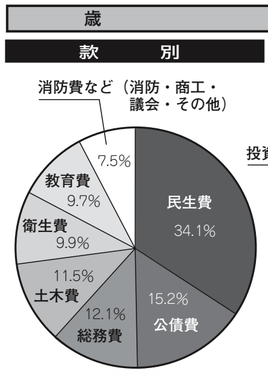
そこで、予算編成にあたっては、厳しい財政の現状を踏まえ、真に市民にとって必要な行政サービスを見極め、将来の都市像を具体的に実現するための施策を「選択と集中」による財源の重点配分により予算編成に取組む。

歳　入　117,700,000千円

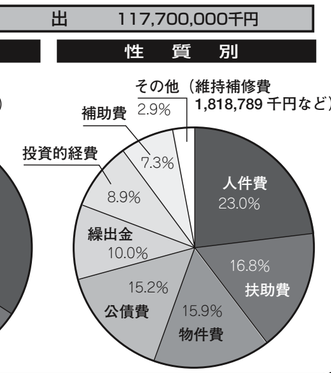


歳　出　117,700,000千円

款　別



性　質　別



総務水道委員会

大橋雪子委員長

平成20年2月14日総務水道委員会が開催。所轄事務調査報告（6件）

●人事課長
中抜け問題について

●広報公聴課長
市民意識調査について

●財政課長
公約的資金の繰り上げ召還について

●管財課長
旧西部公民館の跡地活用提案協議について

●経営管理課長
ペットボトルの製造について

●水質管理課長
平成18年度水質試験結果概要について

（報告案件の中で特に）
○中抜け問題については、職場離脱職員は、停職ないし減給処分とし、職場離脱した時間は欠勤とみなして給与返還を求める。管理監督責任者は減給及び訓告処分とされた。
○旧西部公民館等跡地は、公募型プロポーザブルにより、開発事業者を募り売却となる。
○水道水を詰めたペットボトル水「自然流下一万メートル」一万本製造。

3月定例会

聖域なき行財政改革の推進を！

予算編成方法を検討し、客観的な基準の導入を！

奈良市議会

公明なら

第４３号
編集発行
公明党奈良市議団
http://www.imj.np/nr_koumei/
TEL(0742) 34-4789
〒630-8012 奈良市二条大路南 1-1-1
TEL(0742) 34-1111
印刷
(有) 広宣企画
〒544-0025 大阪市生野区生野東 3-1-3
TEL(06) 6716-5167

奈良市議会3月定例会が、さる平成20年3月4日から21日までの18日間開催され、公明党代表質問には、山中益敏議員が立ち、藤原市長に活発な論戦を展開した。

定例会代表質問

山中益敏議員

平成20年度予算編成について

問 「市民の生活像づくり」と「市の都市像づくり」を柱とする将来の都市像を具現化する施策を「選択と集中」による財源配分としているが、その採用基準について。又、新規事業は、スクラップ・アンド・ビルドの徹底により財源の捻出を図られたのか。

答 ゼロから根本的に見直す視点に立ち、施策の選択については、市民ニーズとして、今何が必要か、将来の本市にとって何をなすべきかを見極め、市の進む方向が市民に見えるよう、施策の選択を行った。又、新規事業は、原則として規定事業の廃止、他の経費削減により財源を確保。

問 「施策の選択」が、どのような客観的な基準によって行われたのか。

答 将来の財政見通しにおける収入不足のため、行財政改革の推進をする中で、事務事業の再編整理に取組みこれまでも実施。又、市単独事業を制度・手法の面から再検討し、新たな事業も含めた必要な「施策の選択」を行なった。

福祉行政について

問 高齢者優遇施策は、公明党市議団として、これまでにも問題点を指摘し、制度の見直し等を提案。持続可能な制度として維持できる公費負担の限度について。

答 対象者の増加に伴う経費の増加で、現時点で限度額を明確にする事は困難。市民の皆様に納得して頂ける範囲で公費負担を実施。

問 現在のICカードの利用状況を基に、改正案で試算した場合、本市の負担額は、持続可能な範囲となるのか。

答 現在、提案をしている改正案で試算を行った場合、平成21年度の本市の負担額は、約2億2500万円。以降毎年1000万円程度の増加が見込まれ、この公費負担額は、持続可能な事業の許容範囲と考える。

問 仮称「南部老春の家」の規模とその内容及び交通アクセスの担保について。

● 仮称「南部老春の家」建設予定地を視察する公明党奈良市議団

答 鉄筋コンクリート2階建て、延床面積は北老春の家と同程度の約1,700㎡。大集会室、和室、食堂、音響ビデオルーム、男女浴室、エレベーター等現在の老春の家が備えている基本的な設備。交通アクセスは、地元から周辺道路の整備について要望がある。しかし時間を要することでもあり、施設開設時に併せ、施設を経由するバス等の運行を計画している。

問 薬害肝炎及び一般肝炎の対策は、仮称「肝炎専門相談外来」等の積極的な治療相談に応じる体制を市立奈良病院に設置を要望すると共に、約350万人の一般肝炎患者への今後の支援策等について。

答 来年度の早い時期にセンター化構想の一環として、仮称「消化器・肝臓病センター」を設置し、肝臓病について横断的なチーム医療を進める予定。又、C型肝炎患者に対するインターフェロン治療助成が、平成20年4月より開始。

B型肝炎やC型肝炎患者のインターフェロン治療費以外は、助成制度の対象外となる。

学校規模適正化について

問 前期に適正化が計画されている地域での取組みについて。

答 実施計画の前期に計画している地域から具体的な「地域別実施計画」(案)を作成し、地域で設置された「学校規模適正化推進協議会」と十分協議し、「地域別実施計画」として確定。

一般質問

公正公平な奈良市老春手帳優遇制度へ

三度の利用者負担となる制度改変は市長選のマニフェストに示しておくべき

（質問）岡本志郎議員

藤原市長の予算に、選挙半年後、バスの運賃の半額負担を高齢者に求める老春手帳優遇制度の見直しが提案されました。

1利用者が新たな負担をするこの種の見直しは、市長選の公約として事前に市民に示しておくべきである。

2特に3万人以上の高齢者が利用のバス優待乗車を、単に行財政改革の視点からとらえて、これを強引に進める姿勢には納得がいかない。

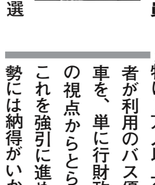
3近鉄電車・タクシー・コミニティバス等の多様な交通手段の利用の可能性を検討すべきと主張してきたが、なぜ検討しなかったのか。

4これまで市は、奈良交通との契約方法、バス路線、ダイヤ等含め、市民の立場で双方を検討されたのか。

5スーパー銭湯が利用可能なあるべき姿を提案したが、銭湯との選択制も検討されたのか。

6映画館の無料入場の廃止は、理解できないと質した。

● 他市で運営されているコミニティバス



（質問）船越義治委員

登美ヶ丘老人憩の家の畳の取替えを早急に

問 登美ヶ丘老人憩の家の畳取替着手は。

答 この家の改修については、御指摘のように、雨漏りや床の間の壁の一部に崩落があるとともに、他の壁がすり減った状態になっていたため、12月3日より屋上防水工事及び内装工事による壁の改修を行っている。尚、畳もすり減っているが、今後検討して参りたい。

老朽化の東登美ヶ丘小学校大規模改造の進捗状況

問 東登美ヶ丘小学校の改造工事について、平成18年12月の一般質問で、「老朽化が著しいことから耐震診断を実施した結果、相当大規模な工事となる。今後は実施に向け努力する」と答弁されているが、現在の進捗状況は。

答 相当大規模な工事となるため、工事内容等の見直しを含め協議を行ってきた。その間、住宅開発とけいはんな線開通に伴う人口構成の変化等による児童の増加など新たな課題も出ていることから、再度20年度に向けた工事設計を行う。学校、地域及び関係各課と協議を進め大規模改造を実施していきたい。

要望 再度、平成20年度に大規模改造に向けた工事設計を実施すると答弁があり、平成17年度のように設計だけして断ち消えにならないことと共に、登美ヶ丘小学校のプールの床改修・プール更衣室の改修ならびに、体育館の水銀灯増設を主張。